

(専門分野Ⅱ)

授業科目	母性看護学演習	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.周産期の母子看護に必要な援助技術が理解できる。 2.正常経過をたどる褥婦と新生児の看護過程が理解できる。			時間数	
				30	
				学年	
				2	
				時期	
					第2学期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1 2	母性看護に必要な看護技術 (妊婦の看護)	1.妊婦の身体計測 腹囲・子宮底計測・レオポルドの 触診法・胎児心音聴取 2.分娩監視装置の装着 3.妊婦体験		講義 演習	教員
3	母性看護に必要な看護技術 (産婦の看護)	1.リラクゼーション 2.呼吸法 3.産痛緩和とマッサージ		講義 演習	教員
4	母性看護に必要な看護技術 (褥婦の看護)	1.子宮復古の観察 2.子宮底の輪状マッサージ 3.産褥体操 4.乳房マッサージ		講義 演習	教員
5 6	母性看護に必要な看護技術 (新生児の看護)	1.新生児の全身観察と沐浴実施の判断 2.新生児の清潔・衣生活の援助		演習	教員
7	正常経過をたどる母子の看護過程	1.母性看護における看護過程の考え方 2.褥婦と新生児のアセスメントの視点		講義	教員
8～12	正常経過をたどる母子の看護過程	1.褥婦及び新生児の看護過程の展開 1)産褥1日目の母子の看護 2)産褥3日目の母子の看護		講義 演習	教員
13 14	正常経過をたどる母子の看護過程	1.母子の看護の実際		演習	教員
15	評価	筆記試験 まとめ			
評価方法	レポート 50点 筆記試験 50点	テキ スト	系統看護学講座 母性看護学[2]母性看護学各論		